

工場紹介・

山陽工場

工場立地

当工場は「岡山県浅口郡鴨方町」という場所にありJR山陽本線沿線で、且つ国道2号線沿いに立地し、静かな風光明媚な土地柄であります。そして、特産品には「手延べ素麺」や「手延べうどん」があります。

また当地には「造り酒屋」も点在しており、昔から良質米と良水に恵まれて来たことが窺えます。近来では、当地が距離的に「福山市」と「倉敷市」の中間点に位置していることもあって、両都市のベットタウンという色彩が強くなってきております。

その反面、当地を企業の立地条件として見れば、東は「川崎製鉄水島製鉄所」、西は「日本鋼管福山製鉄所」という基幹製鉄所へも車で30～40分の位置に当たるため、顧客情報、技術情報、外注企業環境それぞれに恵まれ、地理的に優位な場所であるということも出来ます。

工場概要

当工場の竣工は昭和48年11月であり、当社独自開発技術である「C.P.C (Continuous Pouring process for Cladding) 法」を初めて本格的にプラント化し、CPC製品の量産化を目前に現社長が創設した工場であります。従って本年でちょうど20周年を迎える記念すべき年であります。また、当工場は、開設以来2度の増築工事を行い、現在では、敷地面積：約6,200坪 建屋面積：約1,900坪を有し従業員は70名を擁しております。

当工場の製品は大きく分けて2つに大別されますが、いずれも当社らしくクラッド技術を使用したものであります。

その第一はC.P.C設備を使用したC.P.Cロール・ローラー、第二は自動溶接肉盛及び鋳掛肉盛技術を利用したロール・ローラー及び高硬度耐磨耗製品であります。どちらもクラッド材質は当社ブランドのものばかりであり且つ非常に独自性が高いもので特にユーザー各位の評価を戴いております。

当工場のC.P.Cローラーの代表的な製品は製鉄所内熱延工場のランナウトテーブルローラーであり、現在でも国内ではトップシェアを誇っております。また、近年鉄鋼業界で話題となっているC.P.Cハイスワークロールも生産規模が拡大しており、新たな主力製品となる日も近い楽しみな分野です。次に溶接及び鋳掛肉盛技術による代表的な製品には製鉄所内焼結設備のクラッシャーがあります。これは耐熱、耐磨耗性が要求されますが、当社独自の施工法と使用材質とのマッチングによって必要な性能を作り出すのであります。また、自動肉盛装置を駆使してHs100という高硬度材の溶接ロールも製造しており今後これらのロールも生産拡大するよう努力している。

主要設備

以上のように、C.P.C法自体が柱状成形プロセスであるように、当工場はロール・ローラー等の円形製品が中心であり、溶接施工では「ロール肉盛回転装置」、「溶接用ターニングローラー」等の回転機械そして工作機械では「旋盤」、「ロール研磨盤」等が主要設備となっております。

	設備名称	数量	能力・その他
C P C	溶解炉	4基	0.8 Ton X 2基 X 2ライン
	注湯炉	2基	0.2 Ton X 2ライン
	昇降装置	2基	ストローク約8m
	モールド	1式	鋳肌径φ120～φ850
	熱処理炉	2基	10 Ton、20 Ton
	天井クレーン	1基	20 Ton
溶 接	ロール自動肉盛装置	4台	φ150～φ1800
	溶接用ターニングローラー	6台	60 Ton～5 Ton
	溶接機(直・交)	約30台	300 A～1500 A
	プラズマ切断機	2台	250 A、150 A
機 械 加 工	NC旋盤	2台	φ350、φ600
	汎用旋盤	12台	φ300～φ1200
	ロール研磨機	1台	φ600 X 3500
	フライス(堅・横)	2台	
	天井クレーン	1台	20 Ton
品 管	発光分析装置	1台	島津 GUM -100
	X線応力測定装置	1台	
	超音波探傷装置	2台	自動、携帯用

以上、ご紹介して参りましたように当工場は豊かな自然のなかに立地し、C.P.C技術を初め当社でも特異な技術や製造方法が随所に活用されております。

